

# 平和の祈り、胸に秘め空へ

「原爆の日」三井寺で法要



アメリカが広島に原爆を投下してから79年を迎えた「原爆の日」の6日、天台寺門宗の総本山・三井寺（大津市）の観音堂で、犠牲者を慰霊する法要があり、原爆が投下された朝8時15分に黙とうをしたあと、平和への祈りをつづった短冊を結んだ風船1300個を飛ばしました。しが医療生協の社保・平和委員会からも参加しました。

（写真・朝日新聞提供）

しが医療生協・こびらい生協診療所ホールでヒロシマデー集会を視聴

原水爆禁止  
2024年世界大会

被爆者とともに、  
核兵器のない平和で公正な世界を  
一人類と地球の未来のために

8月3日(土)~8月9日(金) 広島・長崎



## 今年の世界大会は？

原水爆禁止2024年世界大会は、世界的な平和に逆流と岸田政権の危険な暴走にストップをかけ、「核兵器のない」世界と日本の核兵器禁止条約への参加を実現する重要な大会です。ロシアによるウクライナへの侵略、イスラエルのガザでの虐殺、そして核兵器による威嚇に対して、世界各地で、無差別殺りくへの抗議と、非核平和、持続可能な世界を声と行動が広がっています。こうした世界と日本各地の取り組み行動と努力を、世界大会に持ち寄り、発展させましょう。そして、来年の被爆80年にむけて、被爆者とともに大きなうねりを起こしましょう。

## 原水爆禁止 2024年世界 大会を視聴して

物心ついた時から母に連れられ、この大会に参加して来ました。当時は「平和」について詳しく考えたことはなくヒロシマの戦争展に行き「戦争は怖い」と、思っていました。

時が過ぎ選挙権も持った今、「私たちがこれからの未来を守る時代」と考えています。具体的にどう取り組めばいいかは分かりませんが、今回の視聴で感じたのは、社会に目を向ける事です。

関心がなければ情報は入らない、そのため自ら情報を集めるため、新聞やこうした取り組みに参加することが重要と改めて感じました。

（こびらい生協診療所  
看護師・太田 あす香）